

地域防災意識を高める 自主防災訓練

行政区などの地域が主体となって独自の内容で訓練に参加する、自主防災訓練が広がっています。
地形や環境に合った消火訓練、救護訓練、避難訓練などを行い、地域の防災力を高めました。



救命手当の説明を受ける
(歌津中学校校庭)



大地震により発生する
火災に備えて



折立地区



廻館地区



消火器の体験操作

平成19年度 地震・津波防災訓練

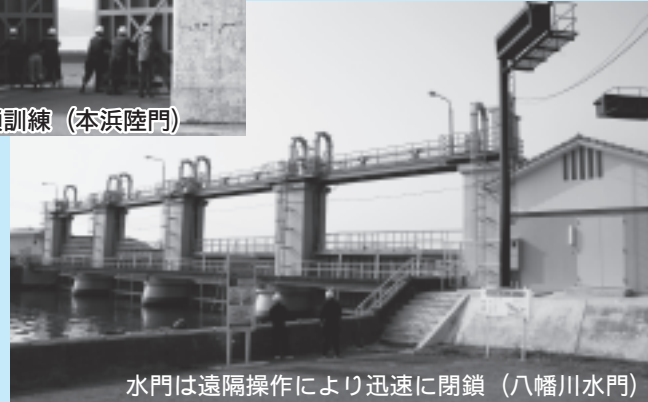
町内全域で防災訓練を実施 約6,000人が参加



海に接し地盤が低い地域では、一次避難場所に指定された建物に避難する訓練を実施



陸門の閉鎖訓練 (本浜陸門)



水門は遠隔操作により迅速に閉鎖 (八幡川水門)



「津波被災があったら山間部の私たちが沿岸部の救援を」と3年前から入谷中学校の全校生徒が災害ボランティアとして参加。今年は志津川中学校の全校生徒も訓練に参加しました。



チリ地震津波から47年 あの教訓を忘れずに！

この訓練は、昭和35年5月24日早朝に三陸沿岸などを襲ったチリ地震津波で、当地域は大きな被害を受けたことから、これを教訓として忘れず次世代に引き継ぐために、毎年5月24日に実施しています。



訓練に参加することで 大切な命が守られます

地震や津波から自分の身や家族を守るためには、防災意識を高め積極的に訓練に参加するなど、日ごろから災害に備えておくことが大切です。



「災害用伝言ダイヤル171」を体験



情報収集訓練に参加したアマチュア無線クラブ



大船地区火災防ぎょ訓練に、入谷全域から参加